

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-3 高齢者福祉の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 高齢者福祉課長 杉原 雅行 電話番号 0852-22-5236

事務事業の名称	ケアマネジャー総合支援事業	
目的	(1) 対象	介護支援専門員
	(2) 意図	適切なサービスが提供できる状態にする。
事業概要	介護支援専門員の育成・支援を図るため、実務研修受講試験、名簿管理及び介護支援専門員証の交付、資質向上研修等を実施する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	更新期限を迎えた介護支援専門員が資格を更新した割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	資格を更新した介護支援専門員の数／更新期限を迎えた介護支援専門員の数	目標値	91.20	63.90	61.70	
			実績値	116.20	102.80	113.50		%	
			達成率						
	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値	0.00	0.00				
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率	0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	24,528	30,652
うち一般財源(千円)	18,209	24,050

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○介護支援専門員資格更新の数 更新した者432人/更新期限を迎えた者634人	
○H26年度各研修の受講者数	(H25年度)
・介護支援専門員実務研修 238人	196人
・介護支援専門員現任研修 513人	515人
・主任介護支援専門員養成研修 33人	44人

6. 成果があったこと（改善されたこと）

更新期限を迎えた介護支援専門員が資格を更新した割合は、H26年度は68.1%と、前年度（61.7%）を上回った。
また、各種研修の受講者は概ね前年度並みの受講者を確保することができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

更新手続きを行わない者も依然としている

②困っている状況が発生している「原因」

ケアマネ業務に従事していないなど、更新の必要がない者がいる

③原因を解消するための「課題」

更新の必要がある者の把握方法

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

介護支援専門員証の交付・更新事務については、更新の必要がある者の把握に努め、適切な事務処理を行っていく。
各種研修については、平成28年度からカリキュラムが新しくなり、研修時間も大幅に増加することから、受益者負担（受講料）のあり方も含めて、適切かつ効果的な研修実施体制について検討していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）